

～地域づくりネットワーク福岡県協議会～  
令和2年度 ブロック会議報告



# 北九州ブロック会議 活動概要

日時：令和2年10月24日（土）14:00～15:40

会場：八幡西生涯学習総合センター 大会議室（コムシティ3階）

## 会議テーマ 『食』を通じた地域振興

### 1. 講演

他業種との協働の仕方や、地元の名産を上げるアイデア・PR方法を学び、各団体が地域の特性を活かしたコンテンツ作りや他団体と協働してプロジェクトを進める方法を学ぶことを目的に、3名の講師にご講演いただきました。

#### 【講演①】

講師：長崎 寛人氏（水巻のでかにんにく協議会 事務局）

演題：「6次化が生み出す地域愛」

水巻町に特産品を作るため、生産・加工・販売が連携して「でかにんにく」のブランド化や商品化に取り組んでいった過程をご紹介します。また、「でかにんにく」ブランドの認知度向上を通して、地元住民としての誇りや地元愛の醸成を図ることができたということについてお話いただきました。



#### 【講演②】

講師：田中 武士氏（中華バル 武遊 代表）

演題：「農商工連携」を通じた地域活性化

「何も無いところから商品をつくりブランド化する」をモットーに、商工会や地元農家など様々な立場の人と連携して、地元名産の菜種油を使った中華調味料等、様々な商品を開発していった経緯をお話いただきました。また、特産品の魅力発信の一環として、商工会ショップを活用して商品を売り出した事例もご紹介いただきました。



#### 【講演③】

講師：吉武 太志氏（オーエーセンター株式会社 代表取締役）

演題：ネジチョコ事業・産学連携事業について

2015年に官営八幡製鉄所が、「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産登録されたことをきっかけに北九州市を象徴するお土産としてネジチョコを開発したことや、西日本工業大学など地域の学生と連携しながら商品開発を行った経験についてお話いただきました。また、あえて広告や流通を絞り、SNSでの口コミを利用してマーケティングを行うといった情報発信の手法をご紹介します。



### 2. まとめ・質疑応答

「地域づくりコーディネーター」の原賀氏に、講演内容をイラストを交えながら模造紙にまとめていただき、会場の皆さんと共有しました。参加者からは情報発信や商品に対し積極的な質疑があり、出席団体の皆さんの知見を深める有意義な時間とすることができました。



# 福岡ブロック会議 活動概要

日 時：令和2年11月29日（日）15時00分～17時30分  
実施方法：Zoom ミーティング

## 会議テーマ アフターコロナのまちづくり活動について

### 1. 活動紹介

- ◆ 講師：西区まるごと博物館推進会 会長 川岡 保 氏  
「西区の宝について」

推進会は、西区の魅力を発信したい人が集まり発足された団体で、「企画・広報部会」「自然部会」等の部会毎のイベントや、全体イベントも毎回盛況であること。活動継続の秘訣は『みんなで楽しくやる』こと等について、お話いただきました。



- ◆ 講師：かすや6町交流キルトの会 実行委員 堤 久美子 氏  
「WITH コロナの 取組～手作りマスク 数千枚届け～」

活動が始まった経緯や、かすや6町の個性や魅力を発信するためのキルト展の実施に際して、商店会や地域と密着し相互に協力しながら開催していることや、コロナ禍において福祉施設等に手作りマスクを寄贈されたこと等について、お話いただきました。



### 2. 講演会および意見交換会

- ◆ 講師：株式会社BOOK 樋口 聖典 氏  
講演会「コロナ渦における廃校利活用施設『いいかね Palette』の運営について」

ご自身が代表取締役をされている株式会社BOOKのコロナ前の取組内容と課題、緊急事態宣言中の状況、WITHコロナでの会社の形態や取り組んでいること等についてご説明いただきました。



#### 意見交換会 「アフターコロナのまちづくりについて」

コロナによる影響や被害は甚大だが、オンラインで出来ることが増える等、チャンスが到来しているので、今までの発想を変えることが必要（例：ハコフェスではコロナ対策をしっかりとすることでイベントへの参加や出展が増加、はかた夢松原の会のイベントではバスによる送迎を中止したが、多くの方が自家用車で来場した）であり、来場者はコロナ対策をしながらイベント等で楽しみたいという思いを持っているので、この機を活かし今回学んだことをそれぞれの活動に生かしていきたいとの声が挙がりました。



# 筑後ブロック会議 活動概要

日時：令和3年1月13日（水）13:30～15:10

会場：久留米市市民活動サポートセンターみんくる（一部オンライン参加）

## 会議テーマ

### 「with コロナ」における地域づくり活動について～

#### 1. 講演

- ◆講師：久留米市市民活動サポートセンターみんくる センター長 翁 春仁 氏  
「オンラインツールを活用した地域づくり活動について」

地域づくり団体の活動を支援している久留米市市民活動サポートセンター「みんくる」がコロナ禍での活動について地域づくり団体と一緒に模索する中で培った、オンライン会議開催のための出前講座等の支援と、オンラインを活用した地域づくり活動の取組例についてご講演いただきました。新たなことや課題解決に取り組む際に大切なのは一人で抱え込まないことであり、他の人と一緒に何かに取り組むことそのものが地域づくり活動であるとお話いただきました。



#### 2. 事例発表

- ◆講師：筑後川まると博物館運営委員会 事務局長 鍋田 康成 氏  
「筑後川まると博物館」の感染症対策とオンライン講座について」

筑後川流域の自然、文化、歴史、産業などについて学び、伝え、守る活動をしている「筑後川まると博物館運営委員会」のコロナ禍における活動について発表いただきました。講座等を実施する際には、定員の縮小、講座時間の短縮、健康状態等の確認など、入念な感染症対策を行うことにより、多くの方が安心して参加されることをお話いただきました。また、オンライン講座について、経験を踏まえた注意点などについてもご報告いただきました。



#### 3. 意見交換

各参加団体の活動状況や講演・事例発表などについて、質問や意見交換を行いました。オンラインで参加された団体にも発言いただき、感染症対策や次の世代への活動の継承などの課題を共有しました。感染が拡大した際の中止の判断が難しい、という意見に対して、講師や他の参加者が事前に基準を作っておくと良いとアドバイスをするなど、有意義な時間になりました。



# 筑豊ブロック会議 活動概要

令和元年度

会議テーマ

つながることで生まれる新たな力～活動を広げるきっかけをつくろう～

## 1. 事例発表

◆発表者：一般社団法人 mixjam 仮想区役所未来区長 辻 千恵氏  
「うっかり 楽しく 社会貢献」

異なる分野の人が集まって、人のつながりやサポートで様々な社会問題の解決や誰かの夢・希望の実現に向けて活動されている仮想区役所未来区の活動内容について発表していただきました。

仮想区役所未来区は社会問題の解決を目的とし、持続可能な手段としてビジネスを行うユヌス・ソーシャルビジネスカンパニーの認定を受けた企業で構成されており、大人も子どもも夢中になれるまちづくりを大切にしていると発表されました。



## 2. 参加者自己紹介

各参加者から活動内容などについて発表していただきました。

発表する内容は、事前に「プロフィールシート」に記入していただき、自己紹介終了後、会場に掲示して休憩時間に自由にご覧いただきました。

## 3. ワークショップ

◆ファシリテーター：スキル×スキルゲーム公認ファシリテーター  
添田町地域おこし協力隊OB 佐々木 晋氏

団体の新たな活動のきっかけを見つけてもらうことを目的に、団体（個人）と団体（個人）のスキル（活動内容や能力、これからやりたいこと）を掛け合わせて、どのような企画ができそうか、お互いのスキルをどのようにして活かすことができるかをグループで考え、話し合う「スキル×スキル」ゲームを実施しました。

参加者からは、活発に、様々なアイデアや意見が出され、異なるジャンルの方々と行ったことで新たな視野を得ることができたとの感想もいただきました。



令和2年度

開催予定日時：令和3年2月13日(土)

実施方法：オンライン (Zoom ミーティング)

会議テーマ：ポストコロナと地域づくり～今、これからの活動を考えよう～

実施内容：学生が地域で活躍する「つなぐカフェ@飯塚」の活動報告等

# 京築ブロック会議 活動報告

日 時：令和2年12月17日(木)13:30～16:30

会 場：豊前市役所 大会議室

参加者：55人

## 会議テーマ

## アフターコロナの地域づくり～京築の魅力再発見～

### 1. 講演

#### ◆発表者

恒遠 俊輔 氏（元求菩提資料館館長・元けいちくサルタヒコ養成塾塾長）

「京築の人々のくらしと祈りの文化」

奥本 隆己 氏（枝川内あじさい祭り実行委員会事務局長・岩屋公民館館長）

「枝川内あじさい祭りの取組みについて」

令和2年度京築ブロック会議では、「アフターコロナの地域づくり～京築の魅力再発見～」をテーマに、まず京築地域の文化とその歴史について、次に令和元年度ふくおか地域づくり活動賞グランプリを受賞した枝川内あじさい祭り実行委員会の取組みについて、それぞれご講演いただきました。

京築地域の文化・歴史を学ぶことで改めて地元への愛着を深め、地域づくりの先行事例を学ぶことで地域の魅力の発信方法を考える機会となりました。



### 2. ワークショップ「SIMULATION 福岡2040」

#### ◆コーディネーター

大渡 務 氏（福岡県商工政策課）

今村 陽子 氏（福岡県行政経営企画課）

仮想の街を舞台に、迫りくる人口減少・財源不足に立ち向かい自治体経営を行うワークショップ「SIMULATION 福岡2040」を実施しました。

参加者は街の将来のために、どの事業を見直し、どの事業に財源を注力していくか議論し、互いに施策を選択する過程を通じて、自治体運営の難しさや対話によって対立を解消する方法や、未来を見据えた意思決定の重要性等を学習しました。

